

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NHL-141

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非ホジキンリンパ腫	Pola-BR療法	21日間	6コース	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	Cancer Sci. 2021; 112(7): 2845-2854. (JO40762試験[P-DRAIVE]試験)

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
【1サイクル目(リツキシマブとポライビー+トレアキシンの同日投与は避ける)、2サイクル目以降は同日投与可】																									
①	リツキシマブ 生理食塩液	375mg/m ² 500mL	点滴静注	医師指示	↓																				
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分		↓																			
③	ポライビー 生理食塩液	1.8mg/kg 50/100mL	点滴静注	初回90分 2回目~30分		↓																			
	体重<45kgの場合は生理食塩液50mLに希釈																								
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分		↓																			
⑤	パロノセトロン	0.75mg	点滴静注	5分		↓																			
	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分			↓																		
⑥	トレアキシシン 生理食塩液	90mg/m ² 250mL(合計)	点滴静注	60分		↓	↓																		
	生理食塩液	250mL	点滴静注 (側管)	60分		↓	↓																		
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分		↓	↓																		

<注意事項/備考>

- ✓ Infusion reaction 予防としてリツキシマブ・ポライビー投与前にブルフェン200mg・ボララミン2mg内服(ソルコーテフ適宜使用可)
- ✓ 血管痛予防のためトレアキシシン投与時に側管より生理食塩液250mL同時投与
- ✓ ポライビー：初回90分、2回目以降30分で投与
- ✓ Grade2・3末梢性ニューロパチー→14日以内に≦Grade1に回復：ポライビー1.4mg/kgに減量し再開
14日までに≦Grade1に回復しなかった場合：ポライビー投与中止